

- 地域経済活性化支援 -

# 着地型観光商品のつくり方

[中小企業大学校 web 校開催]

# WEBee

オンラインゼミ

中小企業支援担当者等研修

## 研修のねらい

着地型観光とは、観光客の受入側（着地側）が、旅行商品や体験プログラムを企画・運営することです。消費者ニーズが「モノ」から「コト」へと変化するなかで、地方創生的手段として、こうした着地型観光商品の重要性がよりいっそう高まっています。

この研修では、地域の関係者を巻き込みながら、地域の観光資源を使って着地型観光商品を開発する方法や、販路開拓の留意点について学んでいただきます。

## 研修期間

2019年  
10/9<sup>水</sup>・10/16<sup>水</sup>

## 対象者

都道府県等の中小企業支援担当者  
商工会・商工会議所の経営指導員  
中小企業団体中央会  
信用保証協会職員など

定員 ▶ 5名（最大7名）

受講料 ▶ 16,000円（税込）  
※受講料は変更になる場合があります。

時間 ▶ 14:30-17:30  
※各回5分前からオリエンテーションを行います。

## 受講に必要な環境

- インターネット環境（有線接続推奨）
- Microsoft Office（Excel・Word・PowerPoint）、カメラ・マイク・スピーカー機能を使用可能なPC
- webカメラ（PC内蔵カメラ可）
- ヘッドセット（マイク付きヘッドホン）

## こんな方におすすめ

- ✓ これから着地型観光商品開発に取り組みたい方
- ✓ 現在の着地型観光商品を見直したい方

## カリキュラム概要

日程	内容
10/9 <sup>水</sup>	操作説明（14:10-14:25） web会議システムの操作について
	着地型観光商品開発の進め方（14:30-17:30） <ul style="list-style-type: none"><li>着地型観光商品の開発プロセス</li><li>地域資源の洗い出しマップ作り（自地域演習）</li><li>商品化コンセプト作り（事例演習・自地域演習）</li><li>関係機関マップ作り（事例演習・自地域演習）</li></ul>
10/16 <sup>水</sup>	着地型観光商品開発を成功させるためのポイント（14:30-17:30） <ul style="list-style-type: none"><li>ワークシートの発表（講師からの講評・相互アドバイス）</li><li>販路開拓の取り組みと各地の成功事例</li></ul>

※カリキュラムは都合により変更する場合がございます。また、システムの不具合等により、講義日程・時間が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 講師紹介（敬称略）



株式会社地域ブランド企画 代表取締役社長 中小企業診断士（商業）

### 小林 義幸

1980年に中小企業事業団（現：中小機構）に入団。中小企業大学校のカリキュラム運営や全国各地のショッピングセンター整備等に係る高度化診断、国が実施している「新連携・地域資源活用・農商工連携事業：三法事業」の事業化支援に従事。特に、全国10地域本部の三法ハンズオン支援体制の展開や新たな施策（生産性の向上、IT活用、地域ブランド構築、着地型観光商品開発）への対応を推進。また、2015年度から日本再興戦略の方針を踏まえ、ふるさとプロデューサー育成支援事業（第1期～4期）に取り組む。

## 受講申込書

下記の研修に受講申込をいたします。

申込日：〔西暦〕 年 月 日

<b>コース名</b>	<b>着地型観光商品のつくり方</b>	<b>コースNo.</b>	<b>1001</b>	
<b>受講者</b>	フリガナ	生年月日 年 月 日 年 齢	〔西暦〕 年 月 日生 年 齢 ____ 歳	
	氏 名		性 別	男性 ・ 女性
	所属機関名	派遣機関長 役 職		
	所属部課名	派遣機関長 氏 名		
	所属部課所在地	役 職	TEL : ( ) FAX : ( ) E-mail :	
〒 _____	<b>連絡先</b>			
<b>事務連絡担当者</b>	部 課 名	(フリガナ) 担当者名		
	所 在 地	(受講者の所属部課所在地と異なる場合のみご記入ください) 〒 _____	<b>連絡先</b>	TEL : ( ) FAX : ( ) E-mail :

- \* 連絡はメールにて行いますので、必ずメールアドレスを記入してください（ブロック体でわかりやすく記入してください）。
- \* 受講申込書受理後、事務連絡担当者様あてに、折り返しメールにて受付状況を連絡させていただきます。
- \* 受入通知等の書類は、開講の約1ヶ月前になりましたら、事務連絡担当者様あてにメールにて送付させていただきます。
- \* web会議システムのログインID、受講者専用ページアドレス等は、受講者様あてにメールにて案内させていただきます。

(該当に✓のうえ、該当するものを○で囲い、年・級等を数字で記入してください。)

<b>取得資格</b>	<input type="checkbox"/> 中小企業診断士 (商・工・情・新) 〔西暦〕 _____ 年 _____ 月取得 (中小企業大学校東京校の養成課程修了者の場合、第 _____ 期 (商・工・情・新) コース修了) <input type="checkbox"/> 日商簿記検定 _____ 級 <input type="checkbox"/> 販売士 _____ 級 <input type="checkbox"/> その他 ( )
<b>既受講コース</b>	<input type="checkbox"/> 税務・財務診断 (旧 基礎研修Ⅰ) <input type="checkbox"/> 経営診断基礎 (商業・ものづくり) (旧 基礎研修Ⅱ) <input type="checkbox"/> 連携組織化の基礎 (旧 中央会指導員研修 (基礎コース)) <input type="checkbox"/> 連携組織化の実務 (旧 中央会指導員研修指導 (実務コース))
<b>* 経営指導員の方のみ</b>	経営指導員発令 (予定) 年月日 【西暦】 _____ 年 _____ 月 _____ 日

**【認定支援機関 (民間コンサルティング、個人事業主・等) の方へ】**

下記に、「認定機関名・ID番号」をご記入ください。\*商工会・商工会議所・中小企業団体中央会等、支援機関の方は記入不要です。

<b>認定機関名</b>	<b>ID番号</b>
--------------	-------------

～個人情報の保護について～  
 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

**【送付先】** 独立行政法人中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校web校  
 FAX : 03-5470-1561      メール : webeecampus@smrj.go.jp  
 (電話 : 03-5470-1823)